

## 「ジェンダー問題」今までとこれから

久留米市在住中学生

小学四年生の夏休み、部活の休憩中に無意識に、「僕も」と言ってしまった。いっしょに話してた友だちや、近くにいた先輩たちが驚いたようにこちらを見た。しかし、すぐに練習開始のよびかけがあったため、何も言われなかった。

夏休みが終わり、始業式のために体育館に向かう途中、「LGBTQ+」というカードを見つけた。始業式が終わり、自分がもらったカードを見ると、部活のときからあった違和感のような何かを解決してくれるものだと思った。

そこから、自分の嫌いな体形を隠しやすいカーディガンを羽織ったりできる格好を好きになった。かわいくふるまったりするのがきつくなった。

恋愛は女の子としたいし、男になりたいという願望があった。振り返ってみても、今まで好きになったのは女の子だったから、自分がなん

なのかわからなくなっていてどこにいるのが正解もわからずなんとなくその環境にいる。周りがしている恋バナについていけずただただ見てるだけ。私が恋愛相談をしてみたけれど、普通の恋愛をすすめられた。

小学校では隠して過ごしたが中学生になり、新しい友だちができた。その友達は男の子を好きでいるけど、「LGBTQ+」に理解がある子だった。その子は普通に話を聞いてくれたし、いっしょになってかんがえてくれた。男になりたいってことは話してないけどすこし話したことで気が楽になった。

恋愛とか生活とかきつくなることがあるけど、どんな友だちとどう過ごすのかが大事だと思う。

私は今、生きているなかで気持ちが変わることを分かっている。なのに、今こんなに悩んでいるのは、今後も長く続いていく問題だから、相談できる環境がないと思いはきえないまま心に残る。かかえこみすぎてきつくなる前に教えてあげるし、教えてもらおう。お互いが「プ

ラス」になるような関係になってほしい。その言葉が「プラス」になるのか、「マイナス」になるのかはわからない。その人の事をよく知り、行動することが大切である。

今までは「LGBTQ+」が自分と関係がないだろうと知らずにいようとするのではなく、自分と関係なくても身近な人のためにも最低限の知識をもってほしい。

ストレスとかさなることで、自分が何かよけいに分からなくなる人もいるから相談されたら、どんな人、どんな特徴でもある程度対応できるようにしておくとか友だちからのカミングアウトにも対応できるし、利益はあると思う。

レズビアンやゲイ、バイセクシュアルなど変わったりするから、キモイなどの簡単で短いワードで何事もまとめすぎないでほしい。どんな特徴を持っていても人は人。

相談するのは、勇気がいるし、否定された時のダメージがでかいけど世の中には、自分を信用してくれる人がすくなくとも一人はいる。たよれる人が一人でもいるのはかかえこむものが

へって心によゆうができる。心によゆうをつく  
って楽しみを見つけて、仲間と共にすごしてい  
ける人がふえてほしい。